

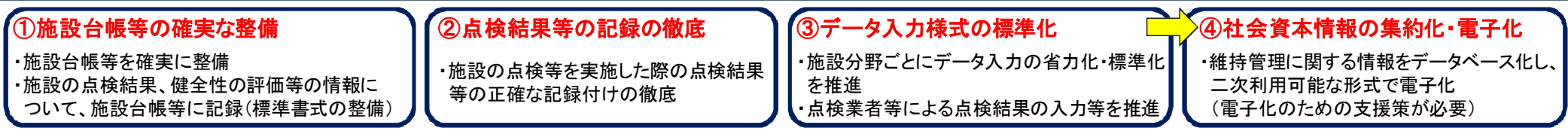
・「情報の共有化・見える化」推進の土台として、施設のメンテナンス等に関する諸情報を正確に把握し、施設分野ごとにデータベース化を推進。
 ・「情報の共有化・見える化」を推進する意義を踏まえ、これらの情報を活用し、国民・地域住民に対する「情報の見える化」、国・地方公共団体等及び民間企業・大学等の研究機関との「情報の共有化」を推進。



社会資本情報プラットフォームの構築

・各分野のデータベースから必要な基本情報や維持管理情報を収集・集計整理し、横並びで閲覧・検索

正確な情報の把握とデータベース化（科学的・合理的メンテナンスの原点は正確な情報）



「維持管理・更新に係る情報の共有化、見える化」確実に実施すべき施策(案)

- ・点検が一巡し、全国レベルで施設の健全性が明らかになる最初の5年間を「**インフラ健全性見える化五箇年**」と位置づける。
- ①国、都道府県、市町村等の全てのインフラの管理者が協力し、特に重要な項目について、全国的に情報の集約化を図る。
- ②健全性の低い施設については、補修・修繕など必要な対応を図るとともに、国民・地域住民に対し情報の公表を進める。
- ③自ら管理する施設の維持管理レベルの確認など自己診断を行い、施設の老朽化対策を確実に実施する。

見える化での公表のイメージ

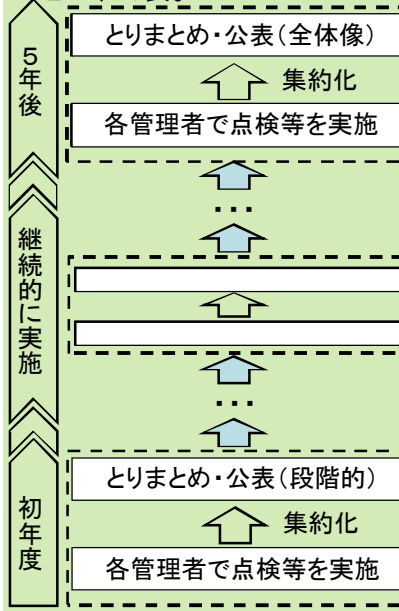
初年度から着手

継続的に実施

5年後には全体像が明らかとなる(毎年可能な範囲で実施)

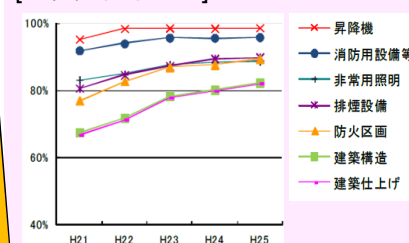
国民・地域
住民向け

○施設の状況、点検実施状況、点検結果等を段階的にとりまとめ、公表。



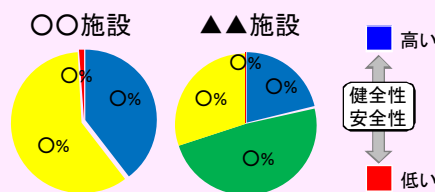
○施設の点検実施状況・点検結果を、集計してとりまとめ、公表

[点検実施率の例]



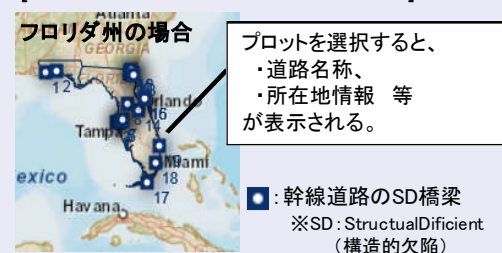
▲国家機関の建築物等の保全の現況(平成26年3月)

[施設毎の点検結果集計のイメージ]



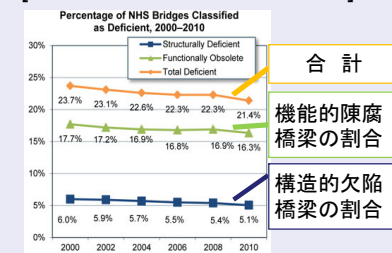
○健全性の低い施設については地図上に表示や、指標化して公表

[健全性の低い施設の地図上表示例]



▲連邦交通省統計局HP <http://gis.nita.dot.gov/DBridges/>

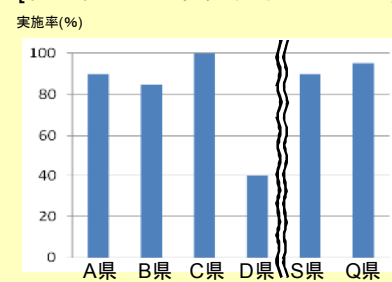
[欠陥橋梁数の割合を示した例]



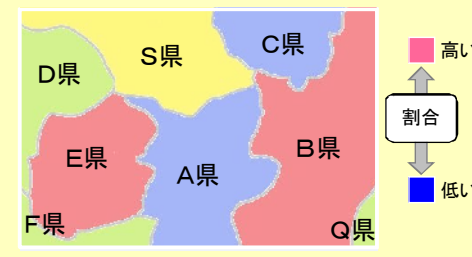
▲FHWA,HP <http://www.fhwa.dot.gov/policy/2013cpr/>

○管理者別で維持管理状況を明確化し公表

[管理者別の点検実施率のイメージ]



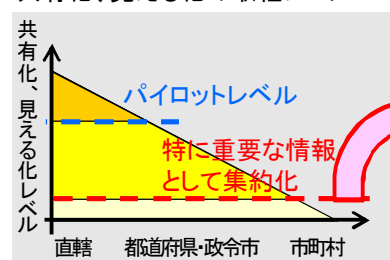
[健全性の低い施設割合の表示イメージ]



集約化を図る情報のイメージ

○インフラの健全性等の分析を行うことを目的に、特に重要な項目について、施設の基本情報・健全性等の情報の集約化を図る

共有化、見える化の取組レベル



[○○施設]

施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理				健全性等の情報		
基本情報	施設名	管理者名	所在地	点検実施年
○○○○	○○県	○○県○○郡	...	H○		
...			

[▲▲施設]

施設分野(施設特性)に応じて集約化を図る情報を整理				健全性等の情報		
基本情報	施設名	管理者名	所在地	点検実施年	健全度評価	...
▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲	H▲	▲	
...			

[...施設]

国・地公体
等向け

対象施設を整理